

同時発表：内閣府、国土交通省道路局

令和3年4月16日
資料配布：近畿地方整備局
滋賀国道事務所
東近江市中山間地域における道の駅等を拠点とした自動運転サービスがスタート
道の駅「奥永源寺溪流の里」で全国2箇所目の本格導入へ
～路車協調の自動運転システムで地域生活の足を支えます～

国土交通省では、高齢化が進行する中山間地域における生活の足の確保等のため、「道の駅」等を拠点とした自動運転サービスの実証実験を平成29年度より全国18箇所を実施してきました。

この度、技術面やビジネスモデル等に関する実験結果を踏まえ、全国で2箇所目となる本格導入が、4月23日(金)より道の駅「奥永源寺溪流の里」(滋賀県東近江市)においてスタートします。

なお、本サービスについては、地域のご意見や運行時期の特性等踏まえながら、運行計画等随時見直しつつ、よりよいサービスを目指していきます。

概要

(1) サービス開始日：令和3年4月23日(金)～

(運行頻度は週4日(水・金・土・日) ※GW・年末年始等は、道の駅営業日を踏まえ実施)

当日13:30から、道の駅「奥永源寺溪流の里」で出発式を行います。

(また、14時～15時の間で体験乗車が可能です。)

(※報道関係者の当日取材、体験乗車希望の方は、前日22日(木)12時までに、別添のとおり申込みをお願い致します。)

(2) 走行ルート：道の駅「奥永源寺溪流の里」～黄和田町～紅葉尾町

(全長(往復)約4.4km)

(3) 運賃：150円/回 運送料：100円/回

(4) 運営主体：東近江市

(所管：都市整備部公共交通政策課) ※運行管理は交通事業者に委託。

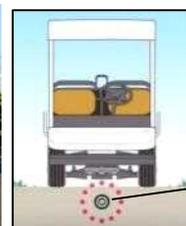
(5) 使用車両：

ヤマハ発動機株式会社製

定員 6人(乗客4名)

走行速度 12km/h

導入台数 1台



電磁誘導線



本取組は、内閣府戦略的イノベーション創造プログラム(SIP)第2期「自動運転(システムとサービスの拡張)」で進める「地方部における自動運転サービスの社会実装の実現並びにその恒久的実施に係る調査研究」のプロジェクトとして実施するものです。(https://www8.cao.go.jp/cstp/gaiyo/sip/)

<取扱い>	-
<配布場所>	近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ、滋賀県政記者クラブ、東近江記者クラブ・市政記者クラブ
<問合せ先>	(自動運転の取組に関する事項) 国土交通省 近畿地方整備局 道路部 交通対策課 交通対策課長 隅田 道男(すみた みちお) (内線4511) 道路構造保全官 森田 啓司(もりた けいじ) (内線4513) TEL: 06-6945-9107 FAX: 06-6942-3911 (出発式及び運行に関する事項) 東近江市 都市整備部公共交通政策課 課長補佐 須田 良行(すだ よしゆき) TEL: 0748-24-5658

【新型コロナウイルス感染拡大防止に関する留意事項】

- ・咳などの風邪症状、発熱等、体調不良のある方は御参加を御遠慮ください。
- ・取材の途中で頻回に咳をする方がいた場合、会場からの退席を要請する場合があります。
- ・会場に設置していますアルコール消毒液にて消毒をお願いします。
- ・感染予防対策のため、マスクの着用をお願いします。
- ・うがい、手洗いの励行をお願いします。
- ・参加者への感染防止を考慮し、職員はマスク着用等により御案内させていただきます。
- ・なお、今後の感染拡大状況等を鑑みまして、延期・中止等の判断をさせていただく場合があります。

4月23日(金) 取材・体験乗車申込書

報道機関名		
ふりがな 担当者名		
ふりがな 随行者名		
※参加者全員の氏名の記載をお願いします。		
緊急連絡先	TEL	
	FAX	
	メールアドレス	
申し込み内容 ※○付けをお願いします。	取材	体験乗車 ()人

※取材・体験乗車は必要最低人数でお願いいたします。

申し込み先：滋賀国道事務所 管理第二課

<FAXによる申し込み>

送り状は不要ですので、本紙のみをそのまま下記までFAXして下さい。

ファックス番号：077-522-6824

電話番号：077-523-1764

<電子メールによる申し込み>

メール本文に①報道機関名②氏名(随行者含む)③連絡先(電話番号・FAX番号)④申し込み内容(取材or体験乗車(人数))を記載のうえ下記まで送付下さい。

メールアドレス：kkk-kb-kout01@mlit.go.jp

中山間地域の道の駅等を拠点とした自動運転サービス実証実験の実施箇所

- (短期の実証実験)
 - H29~30年度 : 18箇所
(※長期、社会実装箇所を含む)
- (長期の実証実験)
 - H30年度~ : 8箇所
(※社会実装箇所を含む)
- (社会実装)
 - R元年度~ : 2箇所

【社会実装】R1. 11/30~
 秋田県北秋田郡上小阿仁村
 (道の駅 かみこあに)

【長期の実証実験】
 実施期間: H30.12/9~H31.2/8
 使用車両: ヤマハ

北海道広尾郡大樹町
 (道の駅 コスモール大樹)

【長期の実証実験】
 実施期間: R1.5/21~R1.6/21
 使用車両: 先進モビリティ

山形県東置賜郡高畠町
 (道の駅 たかはた)

新潟県長岡市
 (やまこし復興交流館おらたる)

富山県南砺市
 (道の駅 たいら)

岐阜県郡上市
 (道の駅 明宝)

栃木県栃木市西方町
 (道の駅 にしかた)

茨城県常陸太田市
 (道の駅 ひたちおおた 及び
 高倉交流センター)

【長期の実証実験】
 実施期間: R1.6/23~R1.7/21
 使用車両: ヤマハ

岡山県新見市
 (道の駅 鯉が窪)

島根県飯石郡飯南町
 (道の駅 赤来高原)

【長期の実証実験】
 実施期間: R2.9/1~10/10
 使用車両: ヤマハ

山口県宇部市
 (楠こもれびの郷)

福岡県みやま市
 (みやま市役所 山川支所)

【長期の実証実験】
 実施期間: H30.11/2~12/21
 使用車両: ヤマハ

熊本県葦北郡芦北町
 (道の駅 芦北でこぼん)

【長期の実証実験】
 実施期間: H31.1/27~3/15
 使用車両: ヤマハ

徳島県三好市
 (道の駅 にしいや・かずら橋夢舞台)

滋賀県大津市
 (道の駅 妹子の郷)

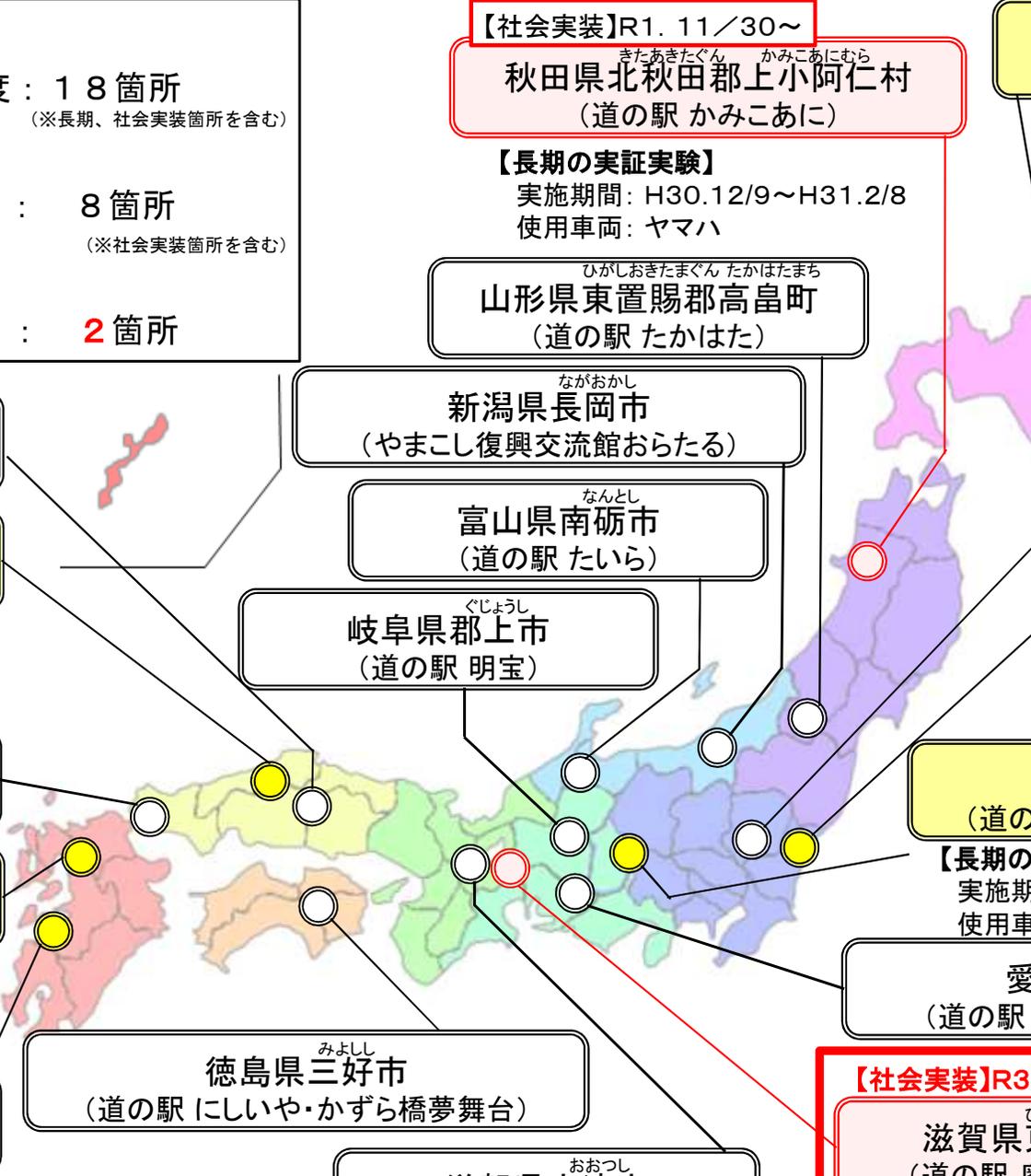
長野県伊那市
 (道の駅 南アルプスむら長谷)

【長期の実証実験】
 実施期間: H30.11/5~11/29
 使用車両: 先進モビリティ

愛知県豊田市
 (道の駅 どんぐりの里いなぶ)

【社会実装】R3. 4/23~(今回)
 滋賀県東近江市蓼畑町
 (道の駅 奥永源寺 溪流の里)

【長期の実証実験】
 実施期間: R1.11/15~12/20
 使用車両: ヤマハ



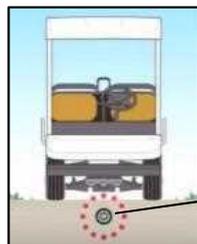
道の駅「奥永源寺溪流の里」を拠点とした自動運転サービスの社会実装

■自動運転車両

<使用車両>



<自動運転の仕組み>



電磁誘導線

電磁誘導線を敷設
車両を誘導

- 開発: ヤマハ発動機株式会社
- 定員: 最大6人(乗客は4名)
- 速度: 12km/h 程度(自動走行時)
- 運転手: 地元の有償ボランティアが対応

走行中は乗車するがハンドル等は操作せず運行を監視

■運営体制

運営主体

東近江市役所
(東近江市が実施主体となる運行事業者協力型自家用有償運行)

サービス

高齢者の送迎
観光客の利用(登山、キャンプ)
農作物や日用品等配送 等

運賃・運送料

運賃 : 150円/回
※他、定期券、回数券も販売予定
運送料 : 100円/回

運行ルート

道の駅奥永源寺溪流の里～銚子ヶ口入口
(全長(往復)約4.4km)

運行スケジュール

運行日 : 週4日 (土・日・水・金)
定期便 : 午前2便 午後4便 計6便

■走行ルート

- 道の駅「奥永源寺溪流の里」を拠点とした全長(往復)約4.4kmのルート
- ルート上には看板や路面標示を設置し、地域の協力を得て、自動運転車両が円滑に走行可能となるように周知



令和3年4月23日(金) 自動運転サービス開始